

特集

2024年2月29日 創業の地・鳥栖から世界へ  
新研究所「SAGAグローバルリサーチ  
センター」が竣工

トピックス

世界の人々のQOL向上とお客様のご満足のために  
新パッケージデザイン・新発売の商品のご案内

- 「エスカップ<sup>®</sup>」& 「ラカルト<sup>®</sup>」  
新パッケージデザインで発売開始
- 「ブテナロック<sup>®</sup>、メディカルソープ フット&ボディ」新発売



第122期 決算を終えて

2023年3月1日から2024年2月29日まで

# 当期の事業活動 について

SAGAグローバルリサーチセンター



## 新パッケージデザイン・新発売の商品のご案内

### 「エスカップ®」 & 「ラカルト®」 新パッケージデザインで発売開始

当社では、「エスカップ®」を2024年3月25日から、「薬用ラカルト®・ニュー5」を2024年4月23日から、それぞれ新たなデザインで順次発売を開始しました。当社は、貼付剤にとどまらず、今後「エスカップ®」「薬用ラカルト®・ニュー5」の価値最大化を図るとともに、様々な商品やサービスを提供し、幅広い事業展開を進めることで、世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。



### 「ブテナロック®メディカルソープ フット&ボディ」新発売

「ブテナロック®メディカルソープ フット&ボディ」は、ブテナロック®足洗いソープをお使いのお客様のご要望にお応えし、大容量液体タイプで足のみならず全身に使用いただける商品です。ブテナロック®足洗いソープ同様優れた殺菌力ときめ細やかな泡立ちで、全身まるごとしっかり洗浄します。



## CONTENTS

トピックス	1	事業の概況	7
メッセージ		配当金について	9
第122期決算のご報告	2	連結決算ハイライト	10
特集		連結財務諸表(要約)	11
新研究所「SAGAグローバル リサーチセンター」が竣工	3	会社の概況/株式情報	13
Hisamitsu SNAP SHOT	5	インフォメーション	14

### ■ 将来予想に関する記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。



代表取締役社長 中富 一榮

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

ここに第122期(2023年3月1日~2024年2月29日)の営業概況と決算についてご報告いたします。

国内市場の医療用医薬品事業は、2023年4月の薬価改定や継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けた一方で、2022年6月に腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎への効能追加に関する承認事項一部変更承認を取得した経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療剤「ジクトル®テープ」等の売上の増加や、2023年6月に販売を開始した原発性手掌多汗症治療剤「アポハイド®ローション20%」の売上が寄与した影響もあり、増収となりました。

一般用医薬品事業は、新型コロナウイルス感染症に関する行動規制が緩やかになったことに伴う人流の回復や各種イベントの開催に加え、訪日外国人の増加に伴いインバウンド需要が回復傾向にある中で販促活動の強化を行ったことにより、増収となりました。なお、当社は、エスエス製薬株式会社の「エスカップ®」「ラカルト®」の両ブランドに関連する資産等の一部譲受について、2023年7月に合意及び関連する契約を締結し、10月に資産等の一部譲受を完了しました。

海外市場の医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受けたものの、女性ホルモン製剤の需要の高まりや円安の影響もあり、増収となりました。一般用医薬品事業は、積極的な販売活動により米国やアジアを中心としたその他の地域で売上を伸ばしたことに加え、円安の影響もあり、増収となりました。

なお、米国においてサロンパス®ブランドが一般用医薬品鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位を獲得しました。また、ユーロモニター社より一般用医薬品市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、「Salonpas®」が7年連続で販売シェア世界No1ブランドの、「久光製薬」が6年連続で販売シェア世界No1企業の認定をそれぞれ受け、海外における評価を一段と高めています。

以上により、連結業績は、売上高1,417億6百万円(前期比10.4%増)、営業利益131億6千7百万円(同13.5%増)、経常利益196億4千9百万円(同22.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益139億6千9百万円(同19.0%増)となりました。

当社グループは、医薬品などの創製・育薬・製造・販売を通じて「世界の人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)向上を目指す」を経営理念と定めています。多様化するお客様のニーズに応えるべく「[手当て]の文化を、世界へ。」という企業使命のもと、当社が培ってきた貼付剤技術をベースに事業活動を積極的に展開してまいります。今後も、地球にやさしい「エコ&コンパクト」パッケージの実現等をはじめとする、ESG(環境・社会・ガバナンス)及びSDGs(持続可能な開発目標)を推進する活動を行うことで、持続可能な社会の構築に貢献し、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# ▶ 新研究所 「SAGAグローバルリサーチセンター」が竣工



## R&D拠点の再編を通じ 研究開発全体の機能強化と開発スピードの向上へ

当社では2022年2月期から「第7期中期経営方針」をスタートさせ、新たな企業使命『「手当て」の文化を、世界へ。』のもと、様々な商品・サービスを通じて世界の人々のQOL向上に貢献すべく企業活動を展開しています。その中で、研究開発力の一層の強化を図るため、研究体制の再構築を検討し、その一環として新研究所の建設を進めてきました。

この度の新研究所の完成により、それまで佐賀県鳥栖市と茨城県つくば市の2拠点にあった研究機能を当拠点に集約させます。これにより、研究者間の連携と研究開発機能の最大化による開発スピードの向上、また、生産部門との連携強化を図ってまいります。

当社は1847年（弘化4年）、佐賀県鳥栖市田代（当時は肥前田代）で創業して以来、当地を拠点とし、「お客様第一主義」の精神のもと、日本全国へ、そして世界各国へと商品をお届けしてまいりました。この創業の地での新たな研究体制により研究開発を加速させ、世界のお客様に様々な商品をいち早くお届けすることを通して、これからも世界の人々のQOL向上に貢献してまいります。

### 新研究所の概要

名称	SAGAグローバルリサーチセンター
所在地	佐賀県鳥栖市姫方町字塚塚370番地1
建築面積	5,660㎡
延床面積	23,290㎡
着工	2022年9月28日
竣工	2024年2月29日

### 「SAGAグローバルリサーチセンター」の役割や主な特徴など

今回建設した新研究所は、当社創業の地である佐賀から新たな「手当て」を世界に向けて創出していく技術拠点になる想いを込めて、「SAGAグローバルリサーチセンター」と名付けました。

「SAGAグローバルリサーチセンター」には共同実験スペースも設置し、新たなイノベーションを生み出すために国内外の大学・研究機関ともネットワークを築き、TDDS (Transdermal Drug Delivery System) を基盤としたオープンイノベーションを推進し、新たな「手当て」の創出へと繋げてまいります。

また、オフィススペースは、革新的なアイデアや概念が交差し、新たなイノベーションを起こす中心地になることを期待し、「Innovation Nexus Office」と名付け、オフィススペースにはコミュニケーションを円滑にする工夫を凝らしています。

加えて、「SAGAグローバルリサーチセンター」は、省エネルギー対策や排出CO2削減など、環境へ配慮した設計としており、BELS評価の「ZEB Ready」を取得しています。



単なるオフィス機能の枠を超えた「Innovation Nexus Office」

### 新研究所稼働下での今後の研究開発の方向性など



新たなTDDS(Transdermal Drug Delivery System) 製剤開発のため、DXを活用し、局所製剤・長期間製剤の技術開発、環境に配慮した育薬の推進、新しい領域への挑戦を通じて、「手当て」の想いを形にするため、今までになかった価値を世界へ発信します。

執行役員 研究開発本部 本部長 寺原 孝明

一例ですが、TDDSの新しい技術としてマイクロニードルがあり、従来の貼付剤では実現ができなかった薬物の投与が可能となります。この技術は化粧品への活用も可能であり、他社との協働も視野に入れて事業化の準備を進めています。2021年12月には新規ナトリウムチャンネル遮断薬に関するライセンス契約を締結し、慢性疼痛に対する新たな経皮吸収型製剤の開発を進めています。

一方で、「手当て」の想いにあふれる様々な商品・サービスの開発も検討しており、医療機器や治療アプリといった新しい領域への挑戦も始めています。様々な部門とアイデアの共有、事業化に向けた協議を重ね、連携を図りながら、久光製薬らしい商品・サービスの創出を実現してまいります。

### マイクロニードル技術

#### HalDisc® Technology (剣山型マイクロニードル技術)

ワクチンなど注射剤として投与されている高分子薬物の投与を実現し、かつ、だれでも簡便に自己投与できる技術



#### Sheetify® Technology (シート型マイクロニードル技術)

久光製薬独自のシート状デバイスで、高用量の経皮投与を実現する技術



#### HalDisc beaute® (化粧品用マイクロニードル技術)

経皮吸収技術と微小突起物基板を組み合わせた心地よい刺激感を生み出す化粧品用ハイブリッド技術



Get Patchに包まれたHalDisc® 皮膚を刺すことなく心地よい刺激感が持続する  
水分と美容成分をたっぷり配合するおいと美容効果をもたらす



## 久光スプリングス※がV.LEAGUE WOMEN最高来場者数を達成

※2024-25シーズンより「SAGA久光スプリングス」にチーム名を変更

2023年10月21日(土)にSAGAアリーナで開催した2023-24V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN SAGA OPENING GAMES in SAGA ARENA第1試合：久光スプリングスVS埼玉上尾メディックス、第2試合：JTマーヴェラスVSTヨタ車体クインシーズにおいて来場者数が7,372名となり、V.LEAGUE WOMEN (2018-19シーズン以降) 最高来場者数を達成しました。

久光スプリングスは記念すべきSAGA OPENING GAMESに向けて2023年10月21日(土)の開幕戦を「佐賀県presents 佐賀さいこう! DAY」とし、佐賀県の皆様と共に地域密着・地域一丸となって取り組みました。そして「さいこう記録へみんなでトス」を合言葉にファンの皆様と共に満員のSAGAアリーナを目指し、当日の記録更新に至りました。

これからも皆様に愛されるチームを目指し活動してまいります!



## 記録達成に向けた取り組みは「スポーツPRアワード2023」を受賞🏆

V.LEAGUE WOMEN最高来場者数記録の達成に向けた、選手考案のオリジナルダンス「一緒に楽しくトス&ハイタッチ」を始めとする「さいこう記録へみんなでトス」の取り組みが、スポーツナビ株式会社が開催する「スポーツPRアワード2023 ユナイテッド賞」を受賞しました。

このプロジェクトは「さいこう記録へみんなでトス」を合言葉にスタートしたもので、来場者の皆様と一緒に何か実施したいという思いから「一緒に楽しくトス&ハイタッチ」を選手が中心となって企画し取り組みました。

これからもバレーボールを通じて皆様に元気や活力をお届けし、地域を盛り上げていけるような活動を行ってまいります。



最後は上に向かってみんなでトス!

## 佐賀県鳥栖市と災害時の避難所提供に関する協定を締結／「サロンパス®アリーナ」を災害時の避難所として提供

本協定は、災害発生時に当社とSAGA久光スプリングスが鳥栖市と相互協力することにより、復旧活動の最大化を図ることを目的としています。

当社及びSAGA久光スプリングスは、鳥栖市で大規模な地震、風水害などの災害が発生した場合、鳥栖市の協力要請に基づき、「サロンパス®アリーナ」を住民の避難所及び他自治体から派遣される応援職員の滞り場所として提供します。



(写真左より)  
鳥栖市長 向門慶人、当社代表取締役社長 中富一榮、SAGA久光スプリングス株式会社 代表取締役 萱嶋章

## 能登半島地震の被災地支援

当社は、令和6年能登半島地震による被害の支援のため、義援金900万円と、マッチングギフト制度「久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部」による義援金100万円の総額1,000万円を、日本赤十字社佐賀県支部を通じて寄付いたしました。また、日本赤十字社と2020年1月31日に締結した「災害時における支援協力に関する協定」に基づき、支援物資として右記の当社商品が無償提供いたしました。被災地域の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

### ■ 支援物資

- ・ 温熱用具 直貼®
- ・ 温熱用具 直貼®温感プラス
- ・ フェイタス®アクティブサポーター ひざ用
- ・ フェイタス®アクティブサポーター 腰用

当期の概況

医療用医薬品事業

**継** 続的な医療費抑制策の推進による影響もあり、先行きが不透明な環境下で推移しました。

このような状況の中、当社は、経皮吸収型貼付剤を中心として、デジタルマーケティングを効果的に活用しながら、医療関係者への適正かつ、きめ細やかな学術情報活動、すなわち有効性・安全性に関する情報の提供・収集活動を展開するとともに、ケトプロフェン含有の経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」及び「モーラス®パップXR」、経皮吸収型エストラジオール製剤「エストラーナ®テープ」、鎮痛効果の高いフェンタニルクエン酸塩含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」、エメダスチンフマル酸塩含有の経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤「アレサガ®テープ」、ジクロフェナクナトリウム含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「ジクトル®テープ」などの適正使用促進活動に努めました。

2023年6月には、1日1回就寝前に手掌に塗布することで効果を発揮する、日本初の原因性手掌多汗症治療剤「アポハイド®ローション20%」の販売を開始し、同時に手汗のお悩み解決情報サイト「みんなの手汗サイト」をオープンする等、手掌多汗症でお悩みの方々に寄り添う事を目指しています。

経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ20mg」「モーラス®テープL40mg」の包装袋について、2023年6月に公益社団法人日本包装技術協会が主催する第47回木下賞において「包装技術賞」を、また2023年8月に同協会が主催する2023日本パッケージングコンテストにおいて「適正包装賞」を受賞しました。本受賞は、環境に配慮した包装袋として、一次包装に医療用医薬品で初めてリサイクルPET80%を採用し、廃棄物削減に取り組みながらも従来品と同等の品質を実現したことによるものです。

一般用医薬品事業

**新** 商品を投入し、店頭・デジタルマーケティングの双方を活用して新規顧客創造活動に努めました。

2023年3月には、鎮痛消炎シップ剤「フェイタス®Zジクサス®シップF」7枚入、同年4月には、鎮痛消炎プラスター剤「サロンパスホット®」3枚入を新発売しました。2024年2月には経皮鎮痛消炎テープ剤「フェイタス®5.0」「フェイタス®5.0 大判サイズ」をリニューアル発売し、優れた殺菌力ときめ細やかな泡立ちで、全身丸ごとしっかり洗浄する「ブテナロック®メディカルソープ フット&ボディ」「ブテナロック®メディカルソープ フット&ボディ つめかえ用」を新発売しました。

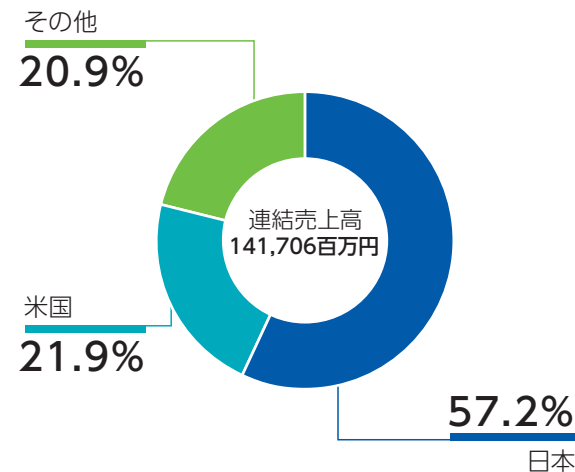
2023年10月には、2023年7月に契約締結しました「エスカップ®」「ラカルト®」の両ブランドに関連する資産等の一部譲受について、エスエス製薬株式会社からの一部譲受を完了しました。また、2024年2月には、「エスカップ®」「ラカルト®」の価値最大化を図るべく、新パッケージでの発売を発表しました。

海外事業

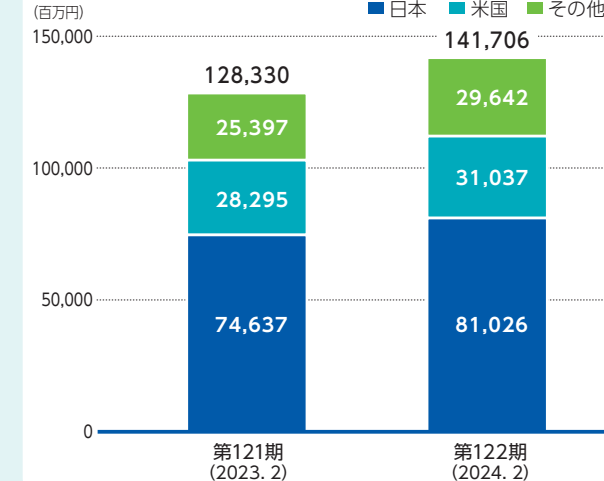
一般用医薬品事業につきましては、販売促進活動に努め、米国のOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤市場においてサロンパス®ブランドが販売額シェア1位（2023年1月から12月累計販売金額）を獲得しています（Information Resources,Inc.）。

また、ユーロモニター社より、「Salonpas®」がOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、7年連続で販売シェア世界No1ブランドの認定を受け、同時に同カテゴリーにおいて「久光製薬」が6年連続で販売シェア世界No1企業の認定を受け、2023年5月17日に認定証を授与されました。

地域別売上高構成比



地域別売上高の推移



次期の見通し

**玉** 内の医療用医薬品事業につきましては、高齢化が急速に進展する中、後発品使用促進策の強化や長期収載品の薬価追加引き下げなど、今後も医療費抑制策は継続されることが予想されます。このような厳しい経営環境のもと、当社は、医療関係者への学術情報活動を一段と強化するとともに、医療関係者や患者さんのニーズに合致した新しい製剤の開発を目指します。また、営業、生産及び研究開発の機能を強化するとともに、収益の一層の向上を目指し、更なる成長に努めます。

国内の一般用医薬品事業につきましては、市場の低迷が長期化し企業間競争が激化する中で、既存商品の売上伸長を図るとともに、お客様のニーズにお応えできるような商品の改良及び新商品の開発を行います。

海外の事業展開につきましては、知的財産、製造技術及び品質管理技術を含めた当社ブランドの確立を図ると

もに、海外生産工場の一層の充実と海外における臨床試験の強化を図ります。

特に、米国の医療用医薬品事業においては、ノーベン社を拠点とし、双方の得意な技術を融合させることで、研究開発の機能を高めるとともに製造を強化してまいります。

これらの取り組みにより、2025年2月期の通期連結業績予想は売上高1,520億円（当期比7.3%増）、営業利益145億円（当期比10.1%増）、経常利益189億円（当期比3.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益158億円（当期比13.1%増）としています。

当社は、2021年に定めたマテリアリティへの取り組みを通じてESG及びSDGsを推進することで、企業としての社会的責任を果たすと同時に、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。



利益配分に関する基本方針

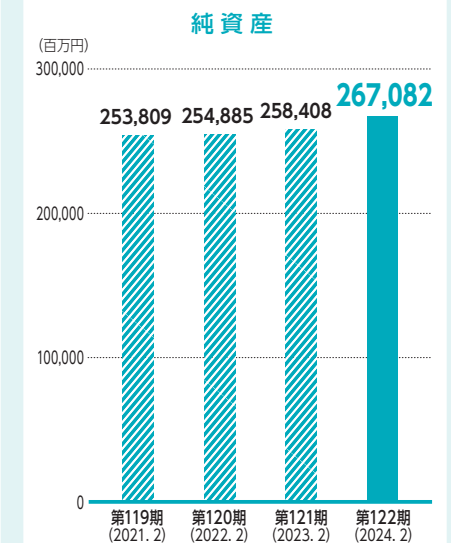
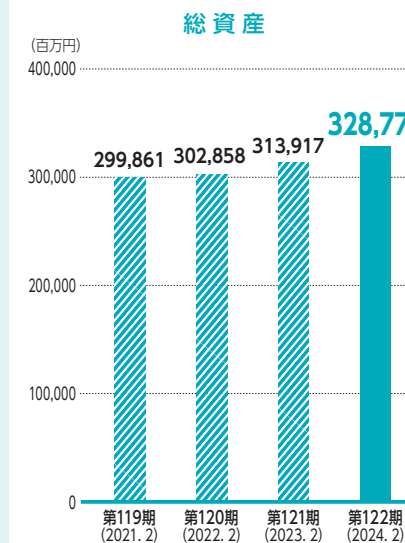
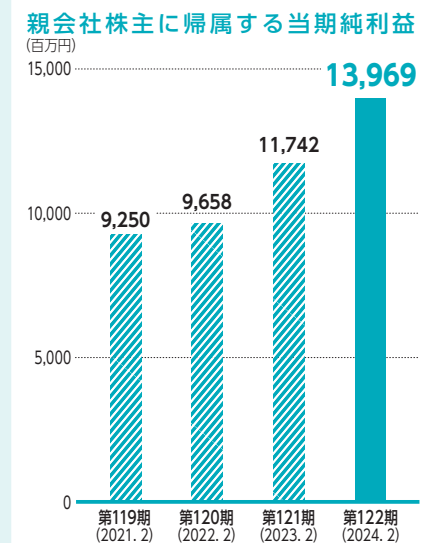
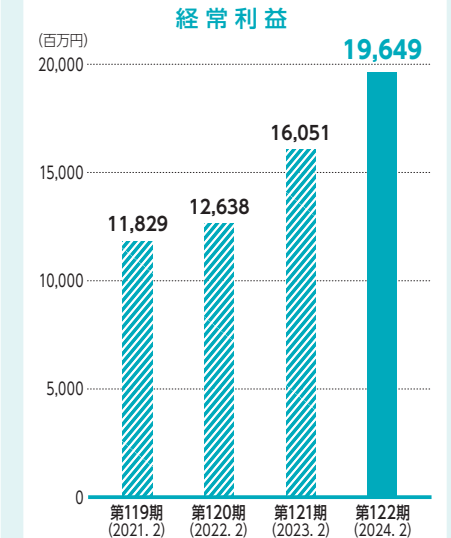
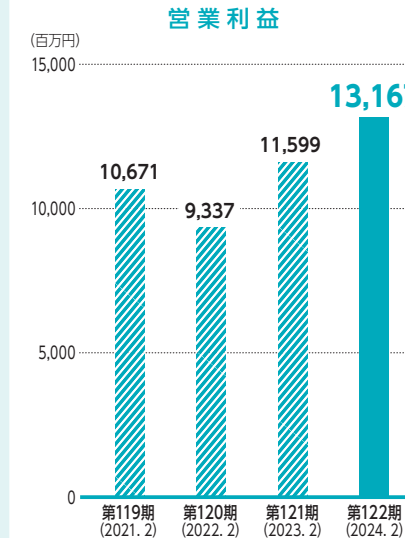
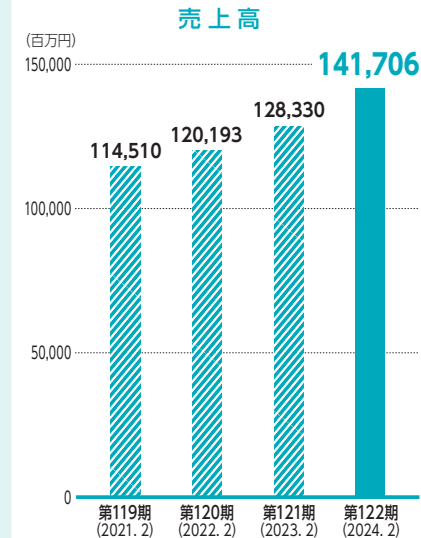
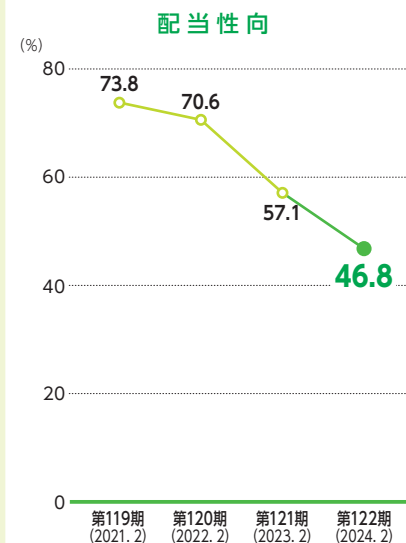
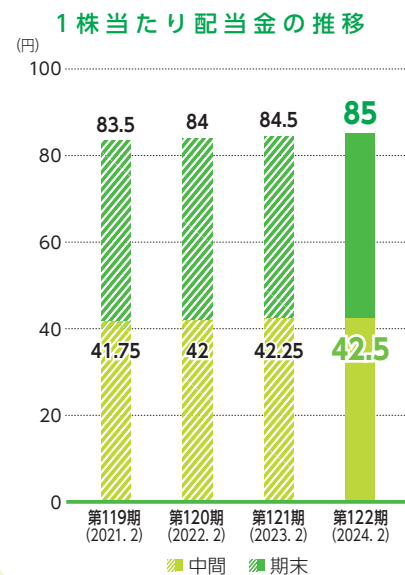
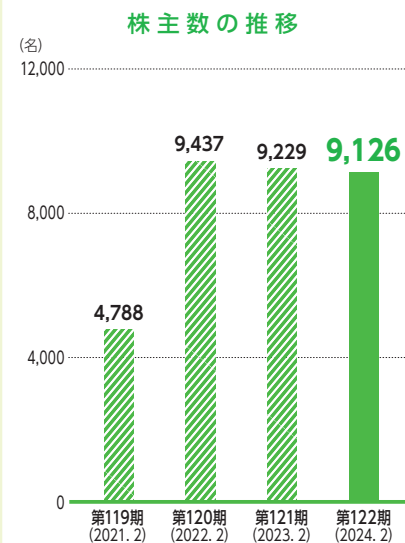
株主の皆様への利益還元を最重要課題と認識し、安定的な配当の継続を基本と考えています。

このほか、株主の皆様への有効な利益還元策として、自己株式取得などの財務諸施策を機動的に遂行します。

内部留保資金については、研究開発の推進、生産設備の拡充および海外事業の展開などに重点的に投資し、経営基盤の強化を図ります。

当期の配当は、期末配当金を1株につき42.5円とし、中間配当金42.5円とあわせて年間85円といたしました。

また、次期の配当につきましては、中間配当金45円、期末配当金45円とし、年間で1株につき90円を予定しています。



**1 Point** 資産

総資産は3,287億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比べて148億6千1百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金(96億9千5百万円減)、その他無形固定資産(43億3千4百万円増)、建設仮勘定(51億4千3百万円増)及び投資有価証券(62億7千6百万円増)です。

**2 Point** 負債

負債合計は616億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比べて61億8千7百万円増加しました。主な増減は、未払金(17億2千2百万円増)、その他流動負債(16億8百万円増)及び繰延税金負債(27億5百万円増)です。

**3 Point** 純資産

純資産合計は2,670億8千2百万円となり、前連結会計年度末と比べて86億7千4百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金(70億9百万円増)、自己株式(97億9千6百万円減)及び為替換算調整勘定(58億2百万円増)です。

**4 Point** 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高は1,417億6百万円(前年同期比10.4%増、133億7千5百万円増)となり、営業利益は131億6千7百万円(前年同期比13.5%増、15億6千7百万円増)、経常利益は196億4千9百万円(前年同期比22.4%増、35億9千7百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は139億6千9百万円(前年同期比19.0%増、22億2千7百万円増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2024.2.29 現在)	前期 (2023.2.28 現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	194,022	199,174
固定資産	134,756	114,742
有形固定資産	49,462	43,209
無形固定資産	6,831	946
投資その他の資産	78,462	70,586
<b>資産合計</b>	<b>328,779</b>	<b>313,917</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	45,938	42,578
固定負債	15,758	12,931
<b>負債合計</b>	<b>61,696</b>	<b>55,509</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	216,420	219,208
その他の包括利益累計額	48,120	36,896
新株予約権	334	260
非支配株主持分	2,205	2,042
<b>純資産合計</b>	<b>267,082</b>	<b>258,408</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>328,779</b>	<b>313,917</b>

**1**

**2**

**3**

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2023.3.1から 2024.2.29まで)	前期 (2022.3.1から 2023.2.28まで)
<b>4</b> 売上高	<b>141,706</b>	<b>128,330</b>
売上原価	62,735	55,630
売上総利益	78,970	72,699
販売費及び一般管理費	65,803	61,099
<b>4</b> 営業利益	<b>13,167</b>	<b>11,599</b>
営業外収益	6,605	4,791
営業外費用	123	340
<b>4</b> 経常利益	<b>19,649</b>	<b>16,051</b>
特別利益	391	453
特別損失	854	391
税金等調整前当期純利益	19,186	16,113
法人税等	4,754	3,987
当期純利益	14,431	12,126
非支配株主に帰属する当期純利益	461	383
<b>4</b> 親会社株主に帰属する当期純利益	<b>13,969</b>	<b>11,742</b>

**4**

**4**

**4**

**4**

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2023.3.1から 2024.2.29まで)	前期 (2022.3.1から 2023.2.28まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,188	12,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,512	△ 23,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,691	△ 14,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,957	5,005
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	941	△ 20,822
現金及び現金同等物の期首残高	65,424	86,247
現金及び現金同等物の期末残高	66,366	65,424

**5 Point** 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益(191億8千6百万円)、減価償却費(51億1千万円)、法人税等の支払額(40億1千7百万円)などにより、181億8千8百万円の収入(前連結会計年度は127億2千7百万円の収入)となりました。

**5**

**6**

**7**

**6 Point** 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の減少額(155億7千2百万円)、有形固定資産の取得による支出(129億2千4百万円)、事業譲受による支出(68億円)などにより、25億1千2百万円の支出(前連結会計年度は238億6千8百万円の支出)となりました。

**8**

**7 Point** 財務活動によるキャッシュ・フロー

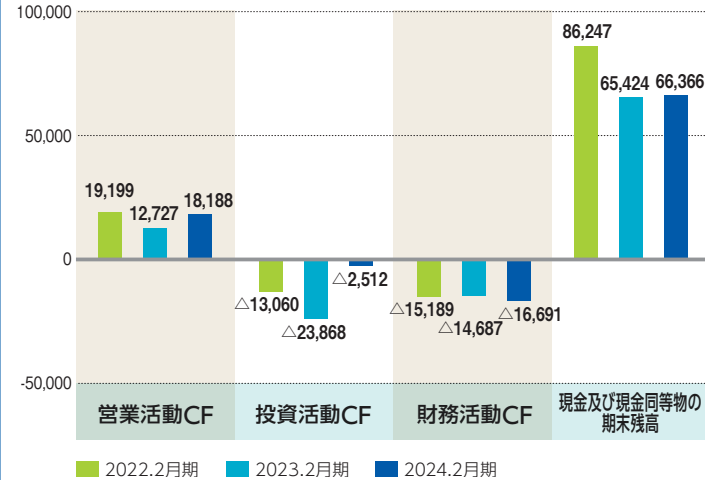
自己株式の取得による支出(97億9千6百万円)、配当金の支払額(65億7千8百万円)などにより、166億9千1百万円の支出(前連結会計年度は146億8千7百万円の支出)となりました。

**8 Point** 現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度末と比較して9億4千1百万円増加し、663億6千6百万円となりました。

キャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)



会社の概要

創業 1847年(弘化4年)  
 設立 1944年5月22日  
 資本金 8,473,839,816円  
 従業員 2,759名  
 事業所

当 社	九州本社(本店)	佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
	東京本社支店	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 札幌支店、仙台支店、東京支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店、台北支店、シンガポール支店、マニラ支店
	営業所	金沢営業所、高松営業所
	工場	宇都宮工場、鳥栖工場
	研究所	筑波研究所、鳥栖研究所

国内	株式会社CRCCメディア(福岡県)、 佐賀シティビジョン株式会社(佐賀県)、 株式会社タイヨー(佐賀県)、 SAGA久光スプリングス株式会社(佐賀県)、 久光ウエルネス株式会社(東京都)、 久光エージェンシー株式会社(福岡県)

海外	ヒサミツ ユーエス インコーポレイテッド(米国)、 ヒサミツ アメリカ インコーポレイテッド(米国)、 ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、 ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、 ヒサミツ ユーケー リミテッド(英国)、 ヒサミツ イタリア S.r.l.(イタリア)、 ヒサミツ ベトナム ファーマシューティカルカンパニーリミテッド(ベトナム)、 久光製薬技術諮詢(北京)有限公司(中国)、 久光製薬(中国)有限公司(中国)、 久光製薬(香港)有限公司(中国)、 P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア) 他1社

(工場)	ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、 ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、 ヒサミツ ベトナム ファーマシューティカルカンパニーリミテッド(ベトナム)、 P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア)
------	---

(研究所)	ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)
-------	-----------------------

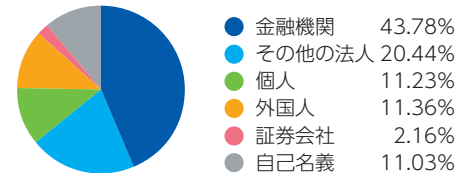
株式の状況

発行可能株式総数 380,000,000株  
 発行済株式の総数 85,164,895株  
 株主数 9,126名

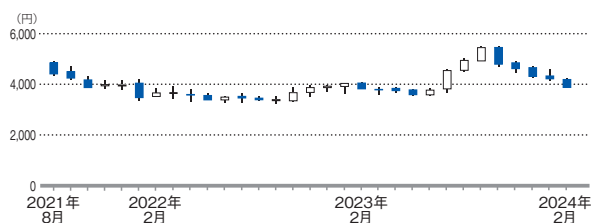
大株主

株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,650
株式会社日本カストディ銀行(リソナ銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	4,060
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,657
株式会社福岡銀行	3,371
久光製薬取引先持株会	2,641

所有者別分布状況



株価の推移



取締役及び監査役 (2024年2月29日現在)

代表取締役社長	中 富 一 榮	取 締 役	瀧 山 浩 二	常 勤 監 査 役	中 富 舒 行
専務取締役	杉 山 耕 介	取 締 役	安 西 祐 一	常 勤 監 査 役	平 野 宗 彦
常務取締役	藤 齋 久 夫	取 締 役	松 尾 哲 吾	監 査 役	小 野 桂 之 介
取締役	堤 信 夫	取 締 役	渡 邊 珠 子	監 査 役	渡 邊 健 太 郎
取締役	村 山 進 一				

(注) 取締役 安西祐一郎、松尾哲吾、渡邊珠子は、社外取締役です。

(注) 監査役 小野桂之介、渡邊健太郎は、社外監査役です。

事業年度 3月1日～翌年2月末日  
 定時株主総会 毎年5月に開催  
 配当金受領 2月末日  
 株主確定日 中間配当金を支払うときは、8月31日  
 基準日 定時株主総会の基準日は2月末日とします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告します。

公告方法 電子公告により公告  
<https://www.hisamitsu.co.jp/ir/koukoku.html>  
 ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町一丁目1番  
 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081  
 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
 名古屋証券取引所プレミアム市場  
 及び福岡証券取引所

証券コード 4530

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承っております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**株式に関するお問合せ先**  
 久光製薬株式会社  
 九州本社総務部 株式課  
 〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地  
 TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

**商品に関するお問合せ先**  
 久光製薬株式会社 お客様相談室  
**フリーダイヤル 0120-133250**  
 受付時間 9:00～17:50(土日・祝日・会社休日を除く)

株式に関する手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>住所・氏名等のご変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> <li>配当金の受領方法の指定(*)</li> </ul>	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人 [手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード <a href="https://www.tr.mufj.jp/daikou/">https://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>

(\*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

最新の会社情報を当社ウェブサイトに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。

ウェブサイト >> <https://www.hisamitsu.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。





おかげさまで発売90周年



当社従来品に比べて包装サイズを小さくしました。



おかげさまで  
発売90周年

さぁ! 全力発揮。気になるそこに、手当てのチカラを。



Hisamitsu®

TEAM JAPANオフィシャルパートナー  
(外用鎮痛消炎剤、筋肉疲労ケア製品、医療用サポーター)

Salonpas®

サロンパス®

肩こり・腰痛・筋肉痛に 第3類医薬品



詳しい商品情報は  
こちらへ▼

